

東俣野中央公園 メルヘン通信

vol.12 園内は春真っ盛りです

こんにちは、公園の管理運営を担当している 緑とコミュニティーグループ です。東俣野中央公園も春の装いに変化しています。コロナ禍ではありますが、これまでどおりの対策をして公園に足をお運びください。何か新しい発見に出会えると思います。

レストハウス前の花壇



こびと達が出迎えます



園内様々なところにあるツツジ類も次々と開花しており、特に東俣野幼稚園側の斜面地には数千株のツツジが順々に咲き始めています。代表的なツツジは、キリシマツツジ、ヒラドツツジ、クルメツツジ、サツキツツジで、園内いたるところに植えてありますので、6月初めまで楽しめます。



園内には変わった花も咲いています。下の写真の花、ご存じでしょうか。



左側は、サトイモ科のウラシマソウです。破れ傘のような葉の下にロート状花が咲いています。花の先は一本のヒゲのようになっていて、浦島太郎が釣り糸を垂れている姿に見立てた名がついています。

右側は、これもサトイモ科のムサシアブミです。花が、武蔵の国(現在の神奈川、東京、埼玉の一部)で作られていた馬具の一種である鎧(あぶみ)をひっくり返した形から名付けられたようです。

まさにメルヘンの公園にピッタリだと思いませんか。